

平成25年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT25040 脳梗塞を見てみよう～脳梗塞からの機能回復～



開催日：平成25年8月8日(木)
実施機関：群馬大学
(実施場所) (医学部)
実施代表者：高鶴 裕介
(所属・職名) (大学院医学系研究科・助教)
受講生：中学生26名
関連 URL：

【実施内容】

(プログラムを留意、工夫した点)

本年度から午前の部を創設し、科研費の趣旨説明ならびに実験動物に関する法的制約事項の説明、動物実験を行う意義について説明し、実験遂行における同意事項の確認を行った。その後、講義形式で、これまでの研究背景を簡単に解説し、大学における講義を擬似体験してもらった。この際、スライドに簡便な説明を付け加えることで理解を助けるよう工夫した。午後の実習では、あらかじめ用意した梗塞後マウス(非代償期および代償期)を用いた実験を体験してもらった。その実験結果を考察してもらったが、この過程で「仮説を立てる」という体験をしてもらうため、あえて実験結果の詳細を伏せ、「自分で考える」時間を確保した。最後に脳梗塞マウスを用いた解剖実習を行った。総評として代表者の研究成果を簡潔に説明し、実習で考察した内容についての「答え合わせ」を行った。

(当日のスケジュール)

- 9:30-10:00 受付
- 10:00-10:40 オリエンテーション(科研費の説明、動物実験の説明および同意確認、自己紹介)
- 10:40-12:00 講義(「脳梗塞後の機能回復について」講師:高鶴裕介)
- 12:00-13:00 昼食・休憩
- 13:00-14:30 実験(マウスの行動実験)
- 14:30-15:00 コーヒーブレイク
- 15:00-16:10 実習(解剖実習)
- 16:10-16:40 講義(「実験結果の解説」講師:高鶴裕介)
- 16:40-17:00 修了式
- 17:00 終了・解散

(実施の様子)



(事務局との協力体制)

- ・管理運営課用度係が委託費の管理と支出の確認を行った。
- ・産学連携推進課産学・地域連携係が振興会への連絡調整と、提出書類の確認・修正を行った。
- ・大学ホームページに受講生募集の案内を掲載した。

(広報活動)

- ・実施分担者がプログラムのポスターと概略を示したチラシを作り、前橋市内および近郊の中学校に送付して広報した。
- ・実施担当者がポスターを作成し、図書館等の地域コミュニティーに掲示を依頼した。
- ・実施担当者が県内の市町村の広報に募集要項を掲載した。

(安全配慮)

- ・実験に際しては全員使い捨ての白衣、マスクおよび手袋を着用した。
 - ・動物への麻酔・薬液の投与、安楽死は教員が行った。
 - ・動物は全てSPF化されたものを用い、人畜共通感染症の防止に努めた。
 - ・受講生には傷害保険に加入することで不測の事態に備えた。
- ※幸い当日は事故の発生がなく安全のうちに企画が終了できた。

(今後の発展性、課題)

例年、実施施設が医学部であることから、医学部進学希望の学生が多く、後半の解剖の部分が特に評判が良かった。一方で、初めての解剖実習ということで、一部女子生徒が気分が悪くなってしまったため別プログラム(実験室で日常的に行っている実験の見学)を実施することになった。今後も解剖実習を来なうことの意義は大きいと考えられるが、実際に参加してみて「思っていたのと違う」という生徒も楽しめるようなオプション企画を検討しておく必要があると考えられる。

【実施分担者】

鯉淵 典之
下川 哲昭
岩崎 俊晴

大学院医学系研究科・教授
大学院医学系研究科・准教授
大学院医学系研究科・講師

【実施協力者】 6名

【事務担当者】

平野 忠臣

産学連携推進課産学・地域連携係・係長